

令和5年度 宮崎県立都城きりしま支援学校 学校関係者評価書

令和6年2月

【4段階評価】 4 十分満足できる 3 ほぼ満足できる 2 やや物足りない 1 改善を要する

評価項目	評価指標	学校自己評価結果	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
教育活動	1 児童生徒の実態に即した教育課程の編成と教育計画 2 分掌部や学部間の連携、円滑な校務運営 3 生きる力を育くむための教材教具の開発や学習環境の整備 4 集団生活への参加、友達と協力する態度や能力の育成 5 保護者への教育方針や教育活動の伝達 6 好ましい行動の仕方を身につけさせる適切な指導 7 児童生徒や保護者・地域社会のニーズに応える教育 8 児童生徒理解に立った指導	◎教員間での情報交換や連携による学級運営 ◎児童生徒の興味関心を活かした教育活動 ●児童生徒の自立と社会参加を見通した日々の指導と支援	3	3.2	○児童生徒が興味関心を持ち、楽しく通学する様子は十分評価できる。 ○障害特性の理解と教員間の情報共有、それに応じた進路支援、また保護者や関係機関との連携の必要性を感じた。
連携・支援	9 保護者や関係機関との連携、見通しをもった支援 10 学級通信、連絡帳、懇談などによる保護者への連絡 11 共生社会を目指した学校・地域づくりの推進 12 障がいや個性に応じた進路・就業支援 13 地域センターとしての相談・連携・支援機能の充実	◎ICT等を活用した保護者への連絡や教師間での連携による学部・学級運営 ●長期的な視点に立った進路に関する保護者への支援 (例:計画的な研修会等の実施)	3	3	○業務の効率化を図ると共に、職員の研修や校務分掌の時間を確保することは大切なことで、子どもたちへのよりよい教育につながるよう、今後も業務改善を進めてほしい。
研修	14 研究や研修を通じての専門的指導力の向上 15 職員のニーズに応じた研修、教育間の相互支援	◎ICTを活用した授業に関する研究、年間指導計画の整理 ●専門性維持のための研修	3	3	○施設、設備の改修については、快適で安全な環境のために少しずつでも進めてほしい。
生活安全	16 児童生徒の健康な心身、基本的生活習慣の確立 17 交通マナー、社会規範意識等の安全指導の徹底 18 安全面に留意した準備や対応 19 緊急時対策の整備と対応の充実	◎緊急シミュレーション(離脱、緊急搬送)の充実 ●危機管理意識の向上 (例:門の開閉、確実な施錠)	3	2.8	○支援学校が、みんなに、親しまれる学校になるといいなと思う。情報発信をもっと行ってほしい。
その他	20 諸会議、校内研修、課題研の効果的実施 21 児童生徒や職員の人権保護 22 会議の精選、時間短縮、事務処理の軽減化 23 児童生徒は登校を楽しみにしているか 24 PTA活動の活性化、保護者の積極的参加 25 施設・設備等、快適で安全な教育環境 26 個人情報の管理、必要な情報の提供	◎会議の精選と業務の効率化 (ICTを活用した働き方改革) ◎児童生徒の意欲を高めるための取組 ●施設、設備のバリアフリー化や改修	2	3	